



卒業生を送る会



2月26日(金)、二学部(通学生)で、卒業生を送る会がありました。『生徒会スライド』では、思い出の場面の写真を映し出し、「これは、どこの写真ですか?やってみてどうでしたか?」「楽しかったんですね」といった和やかな雰囲気での始まりました。

卒業生からは、卒業に向け、大事な仲間と一緒に過ごした集大成としてのプロモーションビデオの上映と、振り返りの言葉がありました。以下に紹介します。

「初めての電車・バス通学は不安でしたが、先輩たちが声をかけてくれて、気持ちになりました」、「入学してきたときは、結構ピリピリしてたので、些細なことで友だちを叩いて泣かせたりしたんですが、先生は怒鳴ったりせず、優しく叱ってくれました」、「後輩の皆さんへ。困ったことがあったら、相談しやすい先生や先輩に伝えてみてください。優しい人たちが多いのでアドバイスしてくれますよ」、「俺なんかだめだ、私なんか、なんて言っていると、幸せが逃げてしまいます。嫌なことが起こったら、できるだけ前向きに考えるといいと思います」、「みはまでは、人付き合いや人に気を遣う、就中、人とのコミュニケーションの大切さを学びました」

合格発表



3月4日(木)に、令和3年度高等部の入学者選考と中学部の入学面接を行いました。

3月12日(金)10:00、高等部の合格者の発表です。

この日は、卒業式の予行練習がありました。終わるとすぐに、体育館から、賑やかな集団が、足早に、職員室前の廊下を、

玄関に向かいました。様子のをのぞきに行くと、賑やかなはずですが、2年生も一緒になって、「クラッカー要ったなー」と、拍手喝采で喜び合っていました。学年を越えた学びの成果といったところでしょうか。

令和2年度 卒業式

3月2日（火）に、二学部（通学生）高等部の、3月16日（火）には、午前中に、二学部小・中学部の、午後には、一学部（病棟生）小・中・高等部の卒業式を挙行了しました。例年であれば、一学部の通学できている児童生徒は、二学部と合同卒業式の形をとるのですが、コロナ禍の中、今年度については、病棟生は病院で、通学生は体育館で行いました。

一学部の様子を紹介します。

一学部は、療育訓練室と病棟ダイルーム、ベッドサイドに分かれての卒業式でした。また、保護者の方には、リモートを活用していただきました。和歌山病院からも、病院長をはじめとして、関係の皆様にご臨席をいただきました。

在校生送辞では、児童生徒と教員で作った心温まるビデオが送られました。

卒業生答辞では、卒業生と担任を中心に、みはま支援学校で学んだ月日が、ビデオに映し出されました。

